



旧内田家住宅は、明治20年代初めに現在の練馬区中村<sup>なかむら</sup>に建てられた茅葺き屋根<sup>かやぶ</sup>の古民家です。部材の一部には江戸時代の古材も使われています。

平成19年に解体し、平成22年3月に、練馬区立石神井公園ふるさと文化館の屋外展示施設として、現在の場所に移築されました。整形四間取りの主体部と、北西部に張り出す角屋から構成されています。

ごく近年まで住宅として使用されており、時代や生活の変化に応じて間取りを変えたり改築を重ねたりしながら、約130年のあいだ伝えられてきました。



きゆううちだけじゆうたく  
旧内田家住宅  
練馬区指定有形文化財